



【院是】すべては患者さん・利用者さんのために

南東北ふくしま

令和7年10月1日 Vol.176

【発行】南東北福島病院・リハビリ南東北福島
〒960-2102福島市荒井北三丁目1-13/TEL024-593-5100

飯坂温泉から始まった日本のリウマチ診療



整形外科 佐藤弘一郎

弘子さん「佐藤先生は南東北福島病院に勤務する前は福島県立リハビリテーション飯坂温泉病院にいらしたんですね。」

佐藤先生「2002年から2007年に県から脳神経疾患研究所に譲渡されるまでね。」

一郎君「だから、佐藤先生はリウマチが専門なのですか。」

佐藤先生「違うんだ。大学院でリウマチの研究に携わったのが縁でね。でも、飯坂温泉とリウマチは全く無関係でないことは確かですね。」

弘子さん「それは、どういうことですか。」

佐藤先生「うん、二人は飯坂温泉の名物が何か知っているよね。」

一郎君「名物?」

弘子さん「えっ、知らないの。飯坂温泉と言ったら、ラジウム卵でしょう。」



佐藤先生「その通り。で、そのラジウムとリウマチ診療がちよつとした関係があるんだ。」

一郎君「でも、先生。温泉なんて、どこに行っても効能効果にリウマチって書いてあるよ。飯坂温泉だけ特別だなんて変だよ。」

佐藤先生「そうだよ。変だよ。でもね、飯坂温泉駅のモニュメントを見たことはあるかい?」

一郎君「松尾芭蕉でしょう。俳句と関係があるんですか。」

佐藤先生「確かに松尾芭蕉の像もあるんだけど、その隣に卵のモニュメントがあるんだ。そこに何と書かれているかな?写真がある。見てみよう。」



弘子さん「東大教授 真鍋嘉一郎 日本最初のラジウム発見の地って書いてあるわ。」

佐藤先生「明治時代のことなんだけど。発見は何年と、はつきりとした記録は残って

いないみたいなんだけど、この真鍋嘉一郎先生が、東大を卒業したころ、飯坂温泉でラジウム・エマナチオンというガスを確認したということらしいんだ。飯坂史跡保存会の斎藤康夫さんは、飯坂温泉でのラジウムの確認は明治36年つまり、1903年として

いるね。そして、彼はのちに東京大学の物療内科の初代教授になったんだよ。彼らは、温泉の病気治療効果はこのラジウム・エマナチオンによるものだと考えたんだ。リウマチもその一つなんだよ。」

一郎君「温泉からラジウム・エマ、エマ、何ですか。そのエマ。唐突すぎやしませんか。」

佐藤先生「エマナチオンね。今の言い方をすれば、エマネーション。リウマチも当時はロイマチスと呼んでいたからね。変な発音で言いくいのは分かるよ。で、話を飛ばしすぎたかな。さつき、僕は明治36年と言ったよね。西暦にする

と1900年前後ね。その頃の世界の科学ってどんな感じだったかな。」

弘子さん「あつ、レントゲンのエックス線の発見は1895年。彼は1901年にノーベル賞を受賞した。そして、

キユリー夫妻は1898年にラジウムを発見し、1903年にノーベル賞を受賞しているわ。」

一郎君「弘子さんは、なんでも知っているんだなあ。」

佐藤先生「そうだね。放射線が最先端の科学だったんだよ。医学者の小酒井光次は、この時代を「放射線中心時代」と称しているね。」

一郎君「先生、話がいつの間にかラジウムばかりで、肝心のリウマチはどうなったのですか。」

佐藤先生「そうだった。ごめん。ごめん。では、その東京大学の物療内科の初代教授が真鍋嘉一郎で、二代目は?」

一郎君「そんなの知る訳ないよ。さすがの弘子さんだって分かりっこないよ。ねえ、弘子さん」

弘子さん「もちろん、わからないわ。真鍋嘉一郎も初めて聞いたし。」

(2ページ目へつづく)

今月のなかみ

- ▼2面 II 医療相談課より
- ▼3面 II 健診センターより、お口の健康教室、栄養ひとくメモ「里芋」
- ▼4面 II ゆきうさぎ通信、今月のレシピ「バター醤油でとうもろこしご飯」

（1ページ目から続く）
 佐藤先生「うん、そうだね。二代目は三沢敬義先生だよ。」
 一郎君「全然知らない人だ。それでその先生がどうしたの？」

佐藤先生「その頃、日本にはまだリウマチを専門にした学会がなかったんだよ。それで、昭和32（1957）年に三沢敬義先生と、大阪大学整形外科初代教授の清水源一郎先生と物療内科第3代教授になる大島良雄先生の3人が世話人となって日本リウマチ協会が発足したんだ。これが今の日本リウマチ学会の前身なんだ。そして、三沢敬義先生が会長となつて、第一回の学術集会が開催されたんだよ。これだけでは、話が面白くない。この三沢先生、どこの出身だと思う？」

一郎君「はい、はい、はい。そう振るって言うことは、飯坂だ！簡単だよ。弘子さんばかりに答えさせないよ。」

佐藤先生「残念でした。福島県ではあるんだけどね。須賀川市の生まれらしいんだ。教授になる前には、郡山の太田西の内病院に勤務していたこともあったらしい。」

一郎君「えええ。先生、ひどいや。せっかく正解だと思つたのに。」

佐藤先生「でもね、それが縁

かどうかは分からないけれど、昭和41（1966）年に東大物療内科の吉田越夫先生が福島医大の第二内科の二代目の教授として赴任され、昭和44（1969）年に福島県立リハビリテーション病院と福島医大附属リハビリテーション研究所が開設され、この飯坂でもリウマチ診療が盛んになっていったんだよ。そして、2007年に飯坂温泉病院の廃院に伴い、南東北福島病院がその機能を譲渡されたという訳です。」

弘子先生「つまり、今、佐藤先生がそのバトンを受け継いでいるっていう訳ですね。」

佐藤先生「それはどうかな。彼らは内科医で僕は整形外科医だからね。でも、僕は昭和44年に生まれたんだ。不思議な縁を感じるよね。」（後編へつづく）



物療内科2代教授
三沢敬義



物療内科初代教授
真鍋嘉一郎



【引用文献・参考文献】
 小酒井光次「放射線中心時代」『洪水以降』第12巻第5号、19、19916
 斎藤康雄「飯坂の歴史を辿る」シリーズ第3回「ラジウムと飯坂温泉」飯坂ロータリークラブ週報、第35回（2720回目）例会報告、2014.3.20
 田中清介「日本におけるリウマチの学会の歴史と展望」臨床リウマチ、18・1・12、2006
 博士の肖像
https://umdb.um.u-tokyo.ac.jp/DPastExh/Publish_db/1998Portrait/03/03200.html#093
 大島良雄「故三沢敬義博士を偲んで」アレルギー、21（1）67〜68、1972
 林栄子「近代医学の先覚者三浦謹之介の素顔」郷土の香り第三十九集、5〜16、2006
 茂田士郎「福島県ゆかりの医人達」福島医学雑誌60巻2号、81〜82、2010

災害時に慌てないために

医療相談課より

近年、異常気象による災害が福島市内でも多発しています。実際に被害に遭われた方もいるかもしれませぬ。過去の教訓を活かし、日頃から備えておくことが大切です。

避難場所については、これが発生する災害によって変わる場合があります。慌てないよう、市の広報やホームページなどで自宅や勤務先などからの避難所に行くのかを確認しておきましょう。また、平時に避難経路を歩いて確かめてみることも安心です。夜道や雨の日には危険な場所が見つかるかもしれませぬ。

そして、持病のある方や毎日お薬を服用している方などは、避難の際にお薬手帳と処方薬を必ず持参することが大切です。お薬手帳があれば普段飲んでる薬の内容や量、過去の処方、アレルギーの有無などを医師や薬剤師が性格に把握でき、避難先でも安心して治療を続けることができます。

また避難の目安を把握するためにテレビ・ラジオ・インターネットでの情報収集や、家族と連絡を取り合うことも安心につながります。

また、福島市には自力で避難するのが難しい方を支える「避難行動要支援者登録制度」があります。登録された情報をもとに、災害発生時に支援活動を行なう方々（福島市、市消防本部、地元の自主防災組織など）で情報を共有し、避難誘導や安否確認などの支援活動を行ないます。対象者には条件があります。登録申請は福島市役所のオンライン申請、長寿福祉課・障がい福祉課等、または支所・出張所の窓口で行うことができます。

備えは特別なことではなく、少し気にかけることから始まります。この季節を迎えるにあたり、自分と家族の命、そして健康を守るための行動を考えてみましょう。

医療相談課 社会福祉士 後藤優介

健診センターより検査のご紹介 「LOX-index」検査を受けませんか?

健診センターより

「どんな検査・・・?」

血液検査で血液中に隠れている動脈硬化の原因物質の量を調べ、動脈硬化の進行から将来の脳梗塞や心筋梗塞の発症危険度(リスク)を予測する検査です。

「動脈硬化」とは動脈が硬くなる病変の総称です。生活習慣の乱れ等が蓄積し、血管内皮の細胞が傷つけられると動脈硬化が進行します。

検査の結果は高リスク・中高リスク・中リスク・低リスクの4段階でリスクを評価します。

あくまでリスク検査となり、検査結果が悪かったからといって脳梗塞や心筋梗塞にならない、逆にも脳梗塞や心筋梗塞にならないとも限りません。将来的に脳梗塞や心筋梗塞になりやすい状態にあ

るかどうかを調べるための検査となります。

下記の項目に当てはまる方にオススメです。

- 肥満気味である
- 高血圧、脂質異常症、糖尿病などの持病がある
- 脂っこい食事や塩辛い食べ物をよく食べる
- タバコを吸っている、もしくは吸っていた
- 定期的に運動をしていない

ぜひ一度検査を行い、ご自身の身体の状態を把握されてはいかがでしょうか?

詳しい説明またはお申し込みは当院健診センターまでお問い合わせください。

(予防医学 大関 壯)



顎関節症について

お口の健康教室

口を大きく開けられない、口を開け閉めするときに顎や耳の辺りに痛みがある、開け閉めすると音がするなどの経験をしたことはありませんか?

先ほど挙げた症状がある場合は、顎関節症である可能性が高く、「症状が悪化すると口が全然開けられなくなる」「痛みで物が噛めない」「偏頭痛のように痛んで生活もままならない」というような重症化することもあります。

顎関節の病気と聞くと高齢の方に起きやすいイメージを持つ方もいらっしゃいますが、若い方から高齢者まで広く生じやすい事もこの病気の特徴のひとつです。

そもそも、顎の関節を肘やひざ、肩の様な関節とは異なり、前後左右に動かすことのできる構造をしています。複雑な構造のため、様々な要因で顎関節症が生じる可能性があります。

関節の病気と聞くと高齢の方に起きやすいイメージを持つ方もいらっしゃいますが、若い方から高齢者まで広く生じやすい事もこの病気の特徴のひとつです。

10代では成長による骨格の変化に伴って生じる事もあります。高齢の方では歯の喪失に伴い咬み

合わせなどが変わることやきっかけに生じる方もいます。

身体的変化だけでなく、精神的変化や負荷によっても生じる事もあるため、働き盛り・病気に意識のまだ向きにくい20代や30代でも起きやすい事も分かっています。

他の病気と同様に、早期発見早期治療が早く良くなるための最大の近道です。

気になる症状を感じたら痛みがなくても受診し相談していただくことをお勧めします。

(歯科口腔外科 歯科衛生士 澁谷美咲)

栄養ひとくちメモ

【里芋】

里芋は縄文時代に中国を経由して渡来したと言われている野菜です。旬の時期は品種によっても変わりますが、最も生産量の多い「土垂(どだれ)」の旬は9月

11月ごろです。スーパードでは1年

中購入できますが、これは秋に収穫したものを貯蔵して出荷されているからです。購入する際、泥がついているものを選ぶと鮮度が長持ちします。

里芋はいも類の中ではカロリーが低めです。カリウムが豊富に含まれており、高血圧の予防に効果が期待できます。ぬめりに含まれているガラクトンという成分は、水に溶けやすい水溶性食物繊維というものに当てはま

ります。水溶性食物繊維は、その粘性により食べ過ぎ防止に効果があるとされており、糖質の吸収をゆるやかにするため血糖値の上昇も抑えてくれます。また、グルコマンナンという食物繊維も多く含まれ、血中コレステロールの低下に効果があります。(参考:まごころケア食)

(栄養管理課 管理栄養士 高野夏美)

ゆきこうさいぎ通信



発行
リハビリ南東北福島

ビアガーデン

甲子園の決勝戦当日、高校球児が夏の日差しの中で白球を追いかける中、リハビリ南東北福島では、ビアガーデンが開催されました。ここ数年は涼しい屋内で開催されています。

ど、普段は飲めないお酒も用意され、皆さんもニュー表を見ながら何を飲むか真剣に選んでいました。飲み物と稲荷寿司や唐揚げ、すいかなど特別メニューが並び、職員の音頭で宴会スタート！「乾杯！」と賑やかな声がフロアに響きました。皆さん「美味しいよ」と食が進んでいたりと、法被を着て写真を撮ったりと普段はなかなか見られない様子を見て職員を含めみんな楽しんで時間を過ごせました。

（リハビリテーション科 七海唯）



午前中から提灯などの飾りつけが職員によって行われ、お祭りの雰囲気 completes があります。餃子を焼き、良いにおいが辺り一面に立ち込めてきました。利用者さんも良いにおいにつられてワクワクしている様子でした。飲み物はジュース、炭酸、ビールや日本酒な



今月のレシピ

バター醤油でとうもろこしご飯



とうもろこしの芯も一緒に炊くことでうま味や風味が良く仕上がります✧

作り方

- ①とうもろこしは長さを3等分に切り、包丁で実をこそげとる。
- ②米は洗い(30分程度浸漬するとふっくら炊き上がる)水気を切って炊飯器に入れる。酒と醤油を加え、2合の目盛りまで水を注いで混ぜ、①を芯ごとのせて炊く。
- ③炊いたら芯を取り除きバターを加え混ぜる。
- ④お好みでこしょうをかける。

効用

とうもろこしには水溶性食物繊維が含まれており、腸の動きを助けてくれるので便秘の予防が期待できます。

材料(4人分)

- ・米2合
- ・とうもろこし1本
- ・酒、醤油各大さじ1
- ・バター15g
- ・粗びきこしょう適量



南東北 ふくしま vol.176

発行日 令和7年10月1日
発行 (一財)南東北福島病院
リハビリ南東北福島
住所 〒960-2102
福島市荒井北三丁目1-13
☎024-593-5100
印刷 石井電算印刷株式会社

リハビリ南東北福島 栄養管理課